



調査計画書（案）の縦覧・意見書提出 についてのお知らせ

今回の環境アセスメントの調査方法について詳しくお知りになりたい方は
縦覧場所で調査計画書（案）をご覧ください。
調査の方法や候補地周辺の環境に関する情報などについて、
住民の皆さまのご意見をお寄せください。

調査計画書（案）の縦覧及び意見書の提出

縦覧期間……………平成14年1月11日（金）まで
（各縦覧場所の開庁時間内）

縦覧場所……………馬頭町環境整備対策室（馬頭町役場2階）
栃木県生活環境部環境整備課（栃木県合同庁舎4階）

意見書提出方法…上記の縦覧期間において、調査計画書（案）についてのご意見をいただきます。
便箋等に住所、氏名、意見を明記し、
意見書提出先までご郵送またはファクシミリ、電子メールにて
送信いただくか、縦覧場所で直接提出してください。
（縦覧場所に意見書用紙をご用意しております。）
なお、誠に勝手ながら、
平成14年1月11日（金）までお願い申し上げます。

適地性判断のための
環境アセスメントでは、
現地調査を予定しております。
この調査に対するご理解
ご協力をお願いいたします。

●問合せ及び意見書提出先

栃木県生活環境部環境整備課

郵送先：〒320-8501 栃木県宇都宮市埴田1-1-20

ファクシミリ送信先：028-623-3113

電子メール送信先：kankyo-seibi@pref.tochigi.jp

馬頭町役場環境整備対策室

郵送先：〒324-0692 栃木県那須郡馬頭町大字馬頭409

次号では、これまで
皆さんからいただいた
ご意見やご質問について
お答えします。



【キーワード事典】

活断層

断層とは、地殻の割れ目に沿って地層がずれる現象をいうとともに、それに伴い発生した不連続面をいいます。
活断層とは、きわめて最近まで変動を繰り返した断層で、今後とも活動する可能性の高い断層をいいます。

表流水・地下水・利水

地球上には海水をはじめとして、河川水、湖沼水、地下水、土壌水、水河や積雪、水蒸気などいろいろな形態の水が存在します。
このうち地表面を流れている水、すなわち河川水を表流水といいます。
また、地下水とは、地表下における地層の間隙または岩石の亀裂や空洞を満たして、流動している水、あるいは流動しうる水のことをいいます。
これらの河川や湖沼、地下などの水を農業、工業、都市活動および生活などの目的で利用することを利水といいます。

生活環境

生活環境とは、事業活動や人の活動に伴って被害が生ずるおそれのある環境のことで、その要因として、大気汚染、水質汚濁、土壌汚染、騒音、振動、地盤の沈下及び悪臭などがあります。
その他、生活に密接な関係のある住宅や家具などの財産や農作物などの生育環境も含めて「生活環境」といいます。

- 発行——栃木県 生活環境部 環境整備課
〒320-8501 栃木県宇都宮市埴田1-1-20 TEL.028-623-3227 FAX.028-623-3113
- 問合せ先——栃木県 生活環境部 環境整備課 TEL.028-623-3227
馬頭町 環境整備対策室 TEL.0287-92-1112

（平成13年12月発行）



グリーン・ライフ Green Life ばとう vol.5

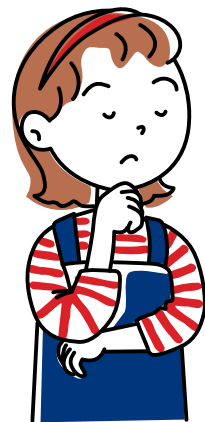
快適で安全な暮らしのために

今回のテーマ

適地性判断のための 環境影響評価（環境アセスメント）

適地性判断のための
環境アセスメントは
どんなものなの？





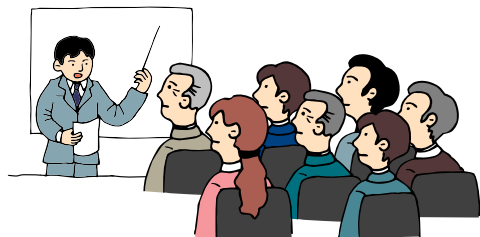
適地性判断のための 環境アセスメントってなあに？

12月6日に知事、町長が出席して、開催しました説明会のあらましをお知らせします。

今回の適地性判断のための環境アセスメントは、候補地として挙げられている備中沢の適地性を判断するために、事業の構想段階から環境アセスメントを行ない、環境保全の観点から事業の内容を検討して、事業が行えるかどうかについての判断材料を得ることを目的とするものです。

調査内容の決定

現況調査の着手に当たりましては、調査方法や候補地周辺の環境に関する情報について地元の皆さんのご意見をいただきます。これらのご意見や、専門家からの助言などを踏まえて、調査内容を決定します。



情報公開と説明会

適地性判断のための環境アセスメントで得られた環境保全に関する影響予測・評価の結果は説明会でご報告いたします。現況調査の途中においても、取りまとめた資料は、馬頭町役場*や栃木県庁*で、地元の皆さまにご覧いただけるよう準備していきます。

*裏面の問合せ先参照

事業の構想

説明会

適地性判断のための 環境アセスメント

専門家の意見

予測・評価に必要な
条件の整理

現況調査

説明 →

← 意見

住民の皆さま

情報公開

環境予測・評価

説明会

不適地

適地性の判断

適地

処分場の適地かどうかは、今回のアセスメントをした後に決まるのね！



現況調査

最終処分場という事業の特性を踏まえ、適地性を判断するために十分考慮すべき環境情報として必要な下記の5つの事項について、約1年間かけて現況を調査します。



適地性判断のための環境アセスメントで何をやるか、もう少し詳しく見てみよう！

- 1 候補地における活断層*の存在・地形・地質の状況
- 2 候補地及び候補地周辺における表流水・地下水及び利水*の状況
- 3 候補地における動植物の生息・生育環境の状況
- 4 主要な展望地からの眺望の状況
- 5 候補地周辺における生活環境*の状況

*裏面参照

現段階の構想

建設候補地……馬頭町大字小口字備中沢地内
埋立面積……約7ヘクタール
埋立容量……80万m³を上限とする
施設の種類……管理型最終処分場
概略施設構想…現在実用可能な最高の技術を

導入し、安全対策に万全を期した「先導的モデル的施設」とする。

この構想に基づき、予測・評価のための条件として必要な範囲で、事業の内容を検討していきます。

影響予測・評価

現況調査で得られた候補地の環境に関する情報にもとづき、構想されている最終処分場が環境に及ぼす影響を予測・評価します。

安全で環境保全に配慮した処分場の設置が可能かどうか判断するのね！



環境への影響を予測・評価した結果をもとに、皆さんや専門家のご意見をうかがって、施設の安全性はもちろん、技術的側面や経済的側面など様々な要素について総合的に検討して、適地かどうか判断するんだよ！

